

令和5年3月

湯梨浜町議会定例会

令和5年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町
【健康推進課】

令和5年度 一般会計

当初予算参考資料 目次

歳出予算

[illegible]

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業	大	0050	国民健康保険事業特別会計繰出金 (簡略番号：004526)		
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経 経常
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	民－社会福祉費	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

国民健康保険制度の安定的な運用を図るために、一般会計からの繰出しを行う。

□内容：基盤安定負担金繰入金、事務費、出産育児一時金等

【事業の必要性】

被保険者の保険料負担の緩和を図るとともに、財政基盤の安定に資することを目的に一般会計からの繰出しを行うことで、財政基盤の安定化を図る必要がある。

2. 根拠法令

国民健康保険法第72条の3

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり(社会保障の充実)

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

国民健康保険制度の安定的な運用を図るために、一般会計からの繰出しを行う。

①保険料軽減分及び保険者支援分についての基盤安定負担金繰入金

②未就学児均等割保険料負担金繰入金

③事務費

④出産育児一時金の2/3

⑤保険財政安定化事業に係る繰入金

【事業の効果】

国保財政基盤の安定に資することにより、国保制度が適切に運営される。

【令和4年度評価】

基盤安定事業により、保険税負担能力補填、事務費、出産育児一時金等に繰入れを行うことで、国保財政の安定化を図ることができた。

6. 財源の説明

【国庫支出金】国民健康保険基盤安定制度負担金 16,390千円

【県支出金】国民健康保険基盤安定制度負担金 50,450千円

【諸収入】高齢者保健事業一体的実施委託費 534千円

【一般財源】 76,961千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	144,335	148,159	△3,824	140,507	144,688
財源内訳					
国庫支出金	16,390	16,452	△62	16,390	
県支出金	50,450	52,375	△1,925	50,450	
地方債					
その他	534		534	107	
一般財源	76,961	79,332	△2,371	73,560	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金	144,335	144,335
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	144,335	144,335

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14010104007	国民健康保険基盤安定制度負担	16,390	16,452
都道府県支出金	15010201007	国民健康保険基盤安定制度負担	50,450	52,375
諸収入	20050302673	高齢者保健事業一体的実施委託	534	

【補助金】

補助金等の名称	国民健康保険基盤安定制度負担金			
補助基本額		補助率	補助金額	68,840

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

03款 01項 01目 005000000事業 国民健康保険事業特別会計繰出金

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 国民年金事務費
事業	大 0010 国民年金事務経常経費 (簡略番号：004755)	中			
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業	目的区分	民一社会福祉費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

国内に住む20歳以上60歳未満の者に義務付けられている国民年金への加入を促進するため窓口での案内や広報等により、年金制度の周知を行う。国民年金及び年金生活者支援給付金等の請求者に対し、申請方法の説明及び請求書の受理を行う。

【事業の必要性】

国民年金及び年金生活者支援給付金の相談及び各種届の受付を、町民にとって身近な役場窓口において行うことにより、町民の利便性の向上を図ることができる。

2. 根拠法令

国民年金法第3条及び同法施行令第1条の2、地方自治法第245条の9第3項

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（社会保障の充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

来庁者に対し、年金の加入・保険料の免除申請・口座振替等各種届出の案内及び受理を行う。また、各種届の申請時期に合わせて、町報やホームページにより制度や申請方法の周知を行う。

【事業の効果】

被保険者の現状に合わせて必要な届出を案内し、未加入者・保険料未納者の減少に努めることで、年金受給権の確保に繋げることができる。また、申請期間が定められている届出の周知を行うことにより、申請漏れを防ぐ効果が期待できる。

【令和4年度評価】

年金・支援給付金の各種手続き及び相談の受付を役場窓口で行うことにより、町民の利便性の向上に努めた。

6. 財源の説明

【国庫支出金】国民年金基礎年金事務委託金 878千円
国民年金協力連携委託金 24千円

【一般財源】 908千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,810	1,657	153	1,689	2,665
財源内訳					
国庫支出金	902	914	△12	914	
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	908	743	165	775	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	850	850	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	170	170	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	177	177	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	26	26	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	383	383	25 寄附金		
11 役務費	79	79	26 公課費		
12 委託料	125	125	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,810	1,810

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14030201001	国民年金基礎年金事務委託金	878	896
国庫支出金	14030201003	国民年金協力連携委託金	24	18

【補助金】

補助金等の名称	国民年金基礎年金事務委託金ほか			
補助基本額		補助率	補助金額	902

【実施計画】

実施計画	部			実施計画
	章			計上額
	節			
	細節			

03款 01項 02目 001000000事業 国民年金事務経常経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	
事業	大	0010	特別医療事務費				(簡略番号：005817)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	民一社会福祉費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

重度心身障がい者、精神障がい者、小児、ひとり親の医療費の助成を必要とする者の医療費（本人負担分）のうち、一部負担金を除いた額を助成する。

適正な助成を行うため、医療費の審査を鳥取県国民健康保険団体連合会及び鳥取県社会保険診療報酬支払基金に委託する。

【事業の必要性】

重度心身障がい者や子育て家庭などの医療費に係る経済的負担を軽減するために必要である。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町特別医療費助成条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（福祉施策の推進）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

受給者が適正に医療費助成を受けられるよう、継続的に制度の周知を行う。

【事業の効果】

制度周知により対象者の適用もれを防ぎ、重度心身障がい者や子育て家庭などの医療費に係る経済的負担を軽減できる。

【令和4年度評価】

重度心身障がい者、小児、ひとり親など、およそ3,300人の本制度の受給者の医療費に対し、審査支払及び資格確認などを行うことで、適切な助成事業を実施できた。

- ## 6. 財源の説明

特別医療費助成に係る医療費の審査及び支払いに関する事務費の2分の1が、県から補助される。

【県支出金】 特別医療事務費補助金 1,267千円

【一般財源】 1,358千円

7 特別医療助成費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	2,625	2,727	△102	2,591	2,597
	国庫支出金					
	県支出金	1,267	1,326	△59	1,258	
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,358	1,401	△43	1,333	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	32	32	25 寄附金		
11 役務費	2,593	2,593	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,625	2,625

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県特別医療費事務費補助金				
補助基本額	2,535	補助率	50.0%	補助金額	1,267

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款	01項	07目	001000000	事業 特別医療事務費
-----	-----	-----	-----------	------------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	07 特別医療助成費
事業	大	0040	特別医療給付費 (簡略番号：005821)		
	中				
	小				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経 経常
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	民－社会福祉費	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

重度心身障がい者、精神障がい者、小児、ひとり親の医療費の助成を必要とする者の医療費（本人負担分）のうち、一部負担金を除いた額を助成する。

【事業の必要性】

重度心身障がい者や子育て家庭などの医療費に係る経済的負担を軽減するために必要である。

《参考》

R元実績：98,264,632円 R02実績：92,530,828円

R03実績：97,358,137円 R04見込：90,782,977円

2. 根拠法令

湯梨浜町特別医療費助成条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（福祉施策の推進）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

対象者に継続的に制度を周知し、適正に医療費を助成する。

【事業の効果】

制度周知により対象者の適用漏れを防ぎ、重度心身障がい者や子育て家庭などの医療費に係る経済的負担を軽減することができる。

【令和4年度評価】

重度心身、小児、ひとり親などの本制度の受給者に対し、およそ90,800千円の医療費を助成することで、受給者の世帯の経済的負担を軽減することができた。

6. 財源の説明

【県支出金】特別医療費補助金 44,757千円

特別医療費助成に係る医療費から高額療養費戻入金等の収入額を控除した額の2分の1が県から補助される。

【諸収入】特別医療費に係る高額療養費戻入金等 5,221千円

【一般財源】 44,757千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	94,735	96,331	△1,596	93,129	97,638
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	44,757	45,391	△634	43,789
	地方債				
	その他	5,221	5,548	△327	5,550
	一般財源	44,757	45,392	△635	43,790

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	94,735	94,735
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	94,735	94,735

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020205013	特別医療費補助金	44,757	45,391
諸収入	20050301001	特別医療費に係る高額療養費戻	5,221	5,548

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県特別医療費補助金				
補助基本額	89,514	補助率	50.0%	補助金額	44,757

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		

03款 01項 07目 004000000事業 特別医療給付費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0005 保健衛生総務経常経費				(簡略番号：007529)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

保健推進委員による各種健診の受診勧奨、地域における健康教室等の開催により、健康づくりの意識高揚と町民の健康増進を図る。

【事業の必要性】

保健推進委員は、町が実施する健康診査やかん検診・健康教育等に関する情報提供を受け、町民が疾病予防や総合的な保健医療サービスが受けられるよう、地域と行政との懸け橋として重要な役割を担っており、その活動を促進することが必要である。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町保健推進委員設置要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

各種健診等の重要性について、委員を通じて呼びかけを行う。また、地区健康教育等の企画・実施を通じ、町民の健康づくりへの意識高揚を図る。

【事業の効果】

委員による健診等希望の取りまとめ、地区健康教育や研修会等の実施を通じ、健診受診意識の向上、疾病の早期発見・早期治療による健康増進及び医療費の抑制に繋げる。

【令和4年度評価】

各種健診等希望調査表の配布回収等については、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度～4年度にかけては訪問形式を中止、郵送とした。疾病等の早期発見・早期治療を図るべく、区内放送等の広報活動に努めるなど、健診受診の勧奨を図った。

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 歯科保健施設使用料 220千円

【一般財源】 1,549千円

1 保健衛生総務費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,769	1,726	43	122	33
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	220	220		122	
	一般財源	1,549	1,506	43		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,632	1,632	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	80	80	25 寄附金		
11 役務費	57	57	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,769	1,769

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款	01項	01目	000500000	事業 保健衛生總務經常經費
-----	-----	-----	-----------	---------------

	現年	当初予算
（一）建設費	70,689,000	70,689,000
（二）維持費	1,000,000	1,000,000
（三）雑費	1,000,000	1,000,000
（四）その他	1,000,000	1,000,000
合計	73,689,000	73,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0021	広域連合負担金休日急患			(簡略番号：007466)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

休日急患診療所、小児・歯科休日急患診療所及び病院群輪番制病院の運営費について、負担金として鳥取中部ふるさと広域連合に支払うもの。

【事業の必要性】

緊急時における救急患者の受け入れを迅速かつ的確に行うために、鳥取中部ふるさと広域連合を中心とした救急医療体制の拡充を推進する必要がある。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

鳥取中部ふるさと広域連合負担金：4,690千円（湯梨浜町分）

【事業の効果】

緊急時において救急患者の受け入れがなされ、住民のニーズに応えることができる。

【令和4年度評価】

休日急患診療所、病院群輪番制病院の運営費を負担することにより、継続して休日や夜間など、緊急時の救急患者について受け入れることができた。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 4,690千円

1 保健衛生総務費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,690	5,082	△392	5,082	5,284
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,690	5,082	△392	5,082	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,690	4,690
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,690	4,690

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 01目 002100000事業 広域連合負担金休日急患

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0012 高齢者インフルエンザ予防接種 (簡略番号: 007693)					
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	衛－保－その他			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内に住所を有する65歳以上の者及び60歳以上65歳未満で特定の障がいのある者を対象に季節性インフルエンザ予防接種を実施し、その費用の一部又は全部を助成する。

【事業の必要性】

高齢者に対する季節性インフルエンザ予防接種は、予防接種法によって市町村に実施が義務付けられている。インフルエンザは冬季に流行し、高齢者や慢性疾患を持つ者は感染すると重症化しやすいため、予防接種の機会を確保する必要がある。

- ## 2. 根拠法令

予防接種法 予防接種法施行令

湯梨浜町高齢者季節性インフルエンザ予防接種事業実施要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

インフルエンザ予防接種を医療機関へ委託し実施する。

対象者：①65歳以上（基準日：12月末日の満年齢）②60歳以上65歳未満で特定の障がいのある者

助成額：1,860円（※生活保護世帯は全額4,160円を助成）

【事業の効果】

予防接種を受けやすい環境を整えながら接種率の向上を図り、町内でのインフルエンザのまん延を予防する。また、インフルエンザの感染による他疾病との併発を防ぐことで、医療費抑制の効果が期待できる。

【令和4年度評価】

対象者約5,500人中3,323人が接種しており（令和5年2月8日現在）約60%の人が予防を行っている。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 8.129千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	8,129	8,174	△45	7,671	7,177
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	8,129	8,174	△45	7,671	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	65	65
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	309	309	25 寄附金		
11 役務費	349	349	26 公課費		
12 委託料	7,406	7,406	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	8,129	8,129

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	02目	001200000事業	高齢者インフルエンザ予防接種
-----	-----	-----	-------------	----------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0013	献血推進事業				(簡略番号: 007702)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

献血の推進を図るため、町内の事業所等を訪問し、献血への理解と協力を呼びかける。

【事業の必要性】

本事業により、血液製剤の原料となる血液を十分に確保することで、安定した血液製剤の供給に資するものである。

- ## 2. 根拠法令

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

鳥取県献血推進計画に基づき、町内事業所等を訪問し、全血献血を年3回程度実施する。

【事業の効果】

本事業により、安全かつ安定した血液製剤の供給を確保し、輸血や重篤な感染症などの治療に役立てることができる。

【令和4年度評価】

令和4年11月30日時点（2回実施済/3回目：令和5年3月1日）において、年間採血目標140人に対し採血数79人で、達成率約56.4%である。

新たな協力事業所の確保に努めるとともに、事業所だけでは限りがあるため、継続して一般市民への周知、啓発に努める必要がある。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 38千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	38	38		38	37
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	38	38		38	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	38	38	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	38	38

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	02目	001300000事業	獻血推進事業
-----	-----	-----	-------------	--------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0113 高齢者肺炎球菌予防接種事業				(簡略番号：007758)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内に住所を有する65歳から100歳までの5歳刻みの者及び60歳以上65歳未満で特定の障がいのある者に対して、高齢者肺炎球菌予防ワクチン定期接種費用4,900円を助成するものである。

【事業の必要性】

本予防接種は、平成26年10月から定期予防接種に位置付けられている。高齢者が肺炎にかかると重症化しやすく、死亡率が高くなる。肺炎は、高齢者の死亡原因の中でも割合が高く、死亡率低下のため、肺炎球菌予防接種事業を行う必要がある。

- ## 2. 根拠法令

予防接種法 予防接種法施行令

湯梨浜町高齢者用肺炎球菌ワクチン接種事業実施要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

肺炎球菌予防ワクチン接種の実施（定期接種）＊過去に接種していない者に限る

□対象者：①65歳から5歳刻みの者 ②60歳以上65歳未満で特定の障がいのある者

【事業の効果】

1回の接種で免疫効果は5年以上にわたって持続し、高齢者の肺炎の重症化予防及び医療費の抑制につなげることができる。

【令和4年度評価】

接種率は約22.5%（令和5年2月8日現在：対象者715人、接種済者161人）である。

特例として、令和2年度から令和5年度まで、引き続き65歳から5歳刻みの未接種者を定期接種の対象とする。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 1,404千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,404	1,572	△168	1,279	1,104
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,404	1,572	△168	1,279	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	25	25
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	59	59	25 寄附金		
11 役務費	64	64	26 公課費		
12 委託料	1,256	1,256	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,404	1,404

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	02目	011300000事業	高齡者肺炎球菌預防接種事業
-----	-----	-----	-------------	---------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0114 風しんワクチン接種事業				(簡略番号：033196)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内に住所を有する妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者・同居者などに対して、麻しん・風しん混合ワクチン又は風しんワクチンの接種費用の一部を助成するものである。

【事業の必要性】

風しんに対する免疫を持たない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、胎児が先天性風しん症候群にかかる恐れがあるため、妊娠を希望している女性や生活空間を同じくする者へのワクチン接種が必要である。

- ## 2. 根拠法令

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
湯梨浜町風しんワクチン接種費助成事業実施要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり(保健・医療・健康づくりの充実)
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

麻しん・風しん混合ワクチン又は風しんワクチン接種費用の2/3を助成（上限8,000円）

□対象者：妊娠を希望する女性・妊婦の配偶者・妊婦の同居者・妊娠を希望する女性の同居者

【事業の効果】

本ワクチンの接種費用の助成により、妊娠中の女性及び生活空間を同じくする者への接種を推進し、風しんに罹患することを予防できる。

【令和4年度評価】

令和4年度は9人（令和5年2月8日現在）に助成決定し、感染防止に努めた。直近3年、全国的に風しんの流行は見られず、県内の感染者もなく、接種件数は減っている。

■実績： R3：12人、R2：12人、R元：33人、H30：23人

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】鳥取県風疹ワクチン接種費緊急助成事業補助金 66千円

【一般財源】 69千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	135	161	△26	161	83
	国庫支出金					
	県支出金	66	79	△13	79	
	地方債					
	その他					
	一般財源	69	82	△13	82	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	133	133
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	2	2	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	135	135

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県風疹ワクチン接種費緊急助成事業補助金				
補助基本額	133	補助率	50.0%	補助金額	66

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 02目 011400000事業 風しんワクチン接種事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目
事業	大	0115 風しん追加的対策事業		(簡略番号：039067)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定			
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

これまでの制度の変遷上、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は公的な予防接種を受ける機会がなく、風しん抗体保有率が低いとされている。

追加的対策として、当該世代への風しん抗体検査及び第5期定期接種を推奨・費用を助成し、風しんの発生やまん延を予防する。《令和6年度まで事業延長》

【事業の必要性】

妊娠初期の女性が風しんに感染すると、胎児が先天性風しん症候群にかかる恐れがある。そのため、風しん抗体保有率が低いとされている世代の男性の抗体検査・予防接種費用を助成することで、保有率の低い人の接種を促進し、風しんのまん延を予防する。

- ## 2. 根拠法令

予防疫種法、予防疫種施行令、湯梨浜町風しん抗体価検査及び風しん第5期定期予防疫種助成要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり(保健・医療・健康づくりの充実)
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、抗体検査・予防接種費用の助成を行う。《令和4年度から令和6年度までの3箇年計画で事業継続》

【事業の効果】

対象者に抗体検査・予防接種を推進し、費用を助成することで、風しんの感染を予防することができると期待されている。

【令和4年度評価】

対象年齢の男性のうち、令和3年度までに抗体検査を受けていない1,214人にクーポン券の期限延長を通知し、抗体検査及び予防接種を勧奨した。令和4年度の抗体検査受診率は、3.3%（令和5年2月8日現在）。

- ## 6. 財源の説明

【国庫支出金】緊急風しん抗体検査等事業補助金 1,224千円

【一般財源】 2.037千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	3,261	3,526	△265	1,307	1,878
	国庫支出金	1,224	1,328	△104	439	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,037	2,198	△161	868	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	55	55	25 寄附金		
11 役務費	220	220	26 公課費		
12 委託料	2,986	2,986	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,261	3,261

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	緊急風しん抗体検査等事業補助金（特定感染症検査等事業）				
補助基本額	2,449	補助率	50.0%	補助金額	1,224

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款	01項	02目	011500000事業	風しん追加的対策事業
-----	-----	-----	-------------	------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0121	子宮頸がん予防ワクチン接種事業			(簡略番号：007762)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内に住所を有する小学6年生から高校1年生、キャッチアップ接種対象者に対して、子宮頸がん予防ワクチンの定期予防接種を実施する。

【事業の必要性】

子宮頸がん予防ワクチンは、予防接種法により市町村に実施が義務づけられている。ワクチン接種により発症リスクの高いヒトパピローマウイルスの感染を予防し、子どもたちが将来子宮頸がん罹患するリスクを減らすため、接種機会を確保する必要がある。

- ## 2. 根拠法令

予防疫種法、湯梨浜町子宮頸がん予防ワクチン接種実施要綱、湯梨浜町予防接種費用助成金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり(保健・医療・健康づくりの充実)
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

定期予防接種である子宮頸がん予防ワクチン接種を医療機関へ委託し実施する。

□対象者：①小学6年生～高校1年生の女子②平成9年4月2日～平成19年4月1日の間に生

□接種回数：一人当たり3回

□委託料：1回 17,660円（2価4価ワクチン）、29,210円（9価ワクチン）

【事業の効果】

接種により、子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルスの感染を予防し、5,6年以上にわたってその効果が持続するとされている。成人後の子宮頸がん検診と組み合わせることで、将来の健康の保持増進を図ることができる。

【令和4年度評価】

◆【令和5年度】
 勧奨再開により、令和4年度対象者794人のうち被接種者109人（令和5年2月8日現在）で、接種率は13.8%となった。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 9.092千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	9,092	2,828	6,264	6,606	444
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	9,092	2,828	6,264	6,606	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	159	159
04 共済費			19 扶助費	424	424
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	42	42	25 寄附金		
11 役務費	96	96	26 公課費		
12 委託料	8,371	8,371	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	9,092	9,092

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款	01項	02目	012100000事業	子宮頸がん予防ワクチン接種事業
-----	-----	-----	-------------	-----------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0124	児童生徒インフルエンザ予防接種			(簡略番号：035745)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分	単独事業			目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内に住所を有する児童生徒を対象に、季節性インフルエンザ予防接種の費用の一部又は全部を助成する。

【事業の必要性】

町内に住所を有する児童生徒の季節性インフルエンザ予防接種の接種率を高め、季節性インフルエンザの発症、重症化の予防及びまん延防止を行う必要がある。

- ## 2. 根拠法令

健康増進法、湯梨浜町児童生徒季節性インフルエンザ予防接種事業実施要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

季節性インフルエンサ予防接種を実施した対象者に対し、受領委任払い又は償還払いの形で助成を行う。

- ☐対 象 者：町内に住所を有する小中学校児童・生徒の保護者

- ☐助成額：1,500円（※生活保護世帯は接種費用全額助成）

- ☐
- 助成回数：1年度当たり1回

【事業の効果】

助成により予防接種に係る経済的負担を軽減することで、予防接種を受けやすい環境を整えながら接種率の向上を図り、インフルエンザのまん延を抑制することができる。また、インフルエンザの罹患による他疾病との併発を防ぎ、医療費抑制の効果が期待できる。

【令和4年度評価】

H28年度から新規事業として制度化し、助成を行っている。接種は流行前の11月～12月に集中する。接種率は、R元年度41.7%、R2年度45.2%、R3年度34.9%、R4年度26.8%（R5年2月8日現在）であり、児童生徒の健康に寄与している。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 1,284千円

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,284	1,258	26	941	898
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,284	1,258	26	941	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費	1, 047	1, 047
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	136	136	25 寄附金		
11 役務費	101	101	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1, 284	1, 284

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 02目 012400000事業 児童生徒インフルエンザ予防接種

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0217 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 (簡略番号: 042428)					
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業			目的区分	衛一保一その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施するために必要な接種体制を構築し、町内医療機関での個別接種などを計画的に実施する。

【事業の必要性】

市民への新型コロナワクチン接種を円滑に実施することで、感染拡大を防止するために必要である。

- ## 2. 根拠法令

予防疫接種法、予防接種施行令、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱、
新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

新型コロナウイルスワクチン接種体制を構築し、接種を希望される町民の受け皿を確保しながら、着実に接種の促進に努めていく。

【事業の効果】

町民への接種が円滑に実施できることで、感染拡大を防止することができる。

【令和4年度評価】

新型コロナワクチン接種を計画的に実施し、感染拡大防止に寄与することができた。追加接種（3回目以降）、オミクロン株に対応した2価ワクチン、小児（5～11歳）、乳幼児（生後6か月～4歳）の接種を実施。

☐ 集団接種：令和4年4月2日から12月25日まで実施／個別接種：令和4年4月1日から実施

- ## 6. 財源の説明

【国庫支出金】新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 8,439千円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 2,068千円

【一般財源】

2 予防費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	11,158	44,660	△33,502	82,837	6,375
	国庫支出金	10,507	44,318	△33,811	81,804	
	県支出金					
	地方債					
	その他		341	△341	1,033	
	一般財源	651	1	650		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	648	648	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	180	180	25 寄附金		
11 役務費	731	731	26 公課費		
12 委託料	9,599	9,599	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	11,158	11,158

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金ほか				
補助基本額		補助率	100.0%	補助金額	10,507

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	02目	021700000事業	新型コロナウイルスワクチン予防接種事業
-----	-----	-----	-------------	---------------------

[illegible]

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目
事業	大	0001 健康づくり計画策定事業				(簡略番号：008139)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	衛一保一その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

平成30年度に策定した第3次健康よりはまを効果的に進めていくため、町健康推進課が主体となり関係部署との連携を図る。令和5年度に最終評価を行う。

【事業の必要性】

平成30年度から開始した計画が令和5年度で期間満了を迎えるため、最終評価を行うことで、次期計画策定に向けて取り組みを継承する必要がある。

- ## 2. 根拠法令

健康日本21(第二次)(国計画)
健康づくり文化創造プラン(第三次)(鳥取県計画)
第3次健康よりはま21(町計画)
湯梨浜町健康よりはま21計画策定委員会設置要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）
SDG s 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

第3次健康よりはま21事業推進の集大成として最終評価を行うとともに、今後も継続して取り組みを推進するため、次期計画を策定する。

【事業の効果】

計画で掲げる目標や各種事業の評価・見直しを通じ、効果的施策の継続または新たな施策の検討などを行い、町民の一層の健康増進に向けた取り組みを推進することができる。

【令和4年度評価】

目標達成に向け、各関係課において事業を推進した。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 574千円

5 保健対策費		所属	0101014500-0000	健康推進課		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	事業費	574		574		
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	574		574		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	130	130	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	427	427	25 寄附金		
11 役務費	17	17	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	574	574

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 000100000事業 健康づくり計画策定事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0011	健康増進事業				(簡略番号：008150)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

生活習慣病による血管系疾患など、重篤な病気の発症予防のため、危険因子の早期発見、早期介入を行うとともに、生活習慣病予防等に関する知識の啓発による意識向上を図る。

【事業の必要性】

慢性腎臓病など、重篤な生活習慣病の増大は、本人・家族の生活の質が変化するだけでなく、経済的な負担も増えるため、発症の抑制が重要である。健診による危険因子保持者の早期発見、早期介入を行うとともに、町民への生活習慣病予防の啓発を行うことで、健康寿命の延伸を図ることが必要である。

2. 根拠法令

健康増進法（平成14年法律103号）第17条第1項及び第19条の2

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【第3次健康ゆりはま21】

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

健康カレンダーの作成及び健康診査・肝炎ウイルス検査の実施と健康教育等において、生活習慣病予防等に関する知識の普及啓発を図る。また、歯周疾患で2次的な疾病を予防するため、歯牙に関心を持てるよう予防歯科に力を入れる。

【事業の効果】

町民の健康意識向上や健康増進が図られ、健康で心豊かなまちづくりに寄与できる。

【令和4年度評価】

健康カレンダーの作成・全戸配布により、健診情報の提供を行った。また、地区健康教室や運動教室、講演会の開催はもとより、健康相談等でタニタ体組成計を使用した保健指導を行い、町民の生活習慣を見直すきっかけづくりを行うことができた。

6. 財源の説明

【県支出金】健康増進事業費補助金 940千円

【一般財源】5.633千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,573	5,785	788	5,025	4,357
	国庫支出金					
	県支出金	940	988	△48	988	
	地方債					
	その他				98	
	一般財源	5,633	4,797	836	3,939	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,873	1,873	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	170	170	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	177	177	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	537	537	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	303	303	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	759	759	25 寄附金		
11 役務費	229	229	26 公課費		
12 委託料	2,525	2,525	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,573	6,573

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	健康増進事業費補助金				
補助基本額	1,412	補助率	66.6%	補助金額	940

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	05目	001100000	事業	健康増進事業
-----	-----	-----	-----------	----	--------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目
事業	大	0013 各種がん検診事業				(簡略番号：008197)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定	
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん検診及び肝炎ウイルス検査を、 集団健診、医療機関健診により実施する。

【事業の必要性】

がんは我が国同様、本町の死亡原因第1位であり、医療費の一位も占めている。検診による早期発見・早期治療ががん死亡の減少となり、ひいては医療費削減につながるため、継続実施していく必要がある。

2. 根拠法令

健康増進法（平成14年法律第103号）
湯梨浜町健康診査及び各種検診事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

鳥取県保健事業団と中部医師会に委託し実施する。現在もコロナ禍前の受診率まで回復しておらず、休日健診日を増加するなど工夫し、各種がん検診受診率をコロナ禍前の1%増を目標に推進する。また、新規検診受診者の確保に努める。

【事業の効果】

各種がんの早期発見・治療により、町民の健康保持増進・医療費の削減につなげる。

【令和4年度評価】

受診勧奨通知や町報、音声告知機など、様々な機会を捉え勧奨・普及啓発に努めた。引き続き新規受診者層の開拓はもとより、精密検査受診者へのアプローチを強化する。

6. 財源の説明

【県支出金】鳥取県休日がん検診実施支援補助金 400千円

【諸収入】 健康診査費個人負担金 45千円

【一般財源】 39,635千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	40,080	42,992	△2,912	40,113	39,032
	国庫支出金					
	県支出金	400	160	240	160	
	地方債					
	その他	45	185	△140	39	
	一般財源	39,635	42,647	△3,012	39,914	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	404	404	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	506	506	25 寄附金		
11 役務費	1,864	1,864	26 公課費		
12 委託料	37,306	37,306	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	40,080	40,080

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県休日がん検診実施支援補助金				
補助基本額	600	補助率	66.6%	補助金額	400

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 001300000事業 各種がん検診事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0016	食生活改善推進事業			(簡略番号：008205)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

食生活改善推進員連絡協議会は、住民の食生活改善とその習慣化を目的とした団体であり町はその活動支援をしている。3年に1回開催する養成講座をコロナ禍により延期したため今年度は会員を育成し増員する。また、現会員のスキルアップを図るため再教育研修会を開催する。

【事業の必要性】

食生活改善には地道な啓発活動が必要であり、地域への伝達と食生活改善の習慣化をより効率的に行うため、地域に密着している食生活改善推進員連絡協議会の活動への支援の継続が必要である。

- ## 2. 根拠法令 食育基本法

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【第3次健康ゆりはま21】、SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

食生活改善推進員連絡協議会活動への支援のため、補助金を継続交付し、住民の食生活改善と健康増進を図る。

【事業の効果】

住民の食生活改善、健康増進のため、食生活改善推進員の活動の支援とスキルアップにより、各地域・家庭への伝達網が強化され、浸透が可能になる。

【令和4年度評価】

コロナ禍中だったが、ポリ袋を利用した簡易な伝達講習実習を実施。「持ち帰りができて簡易」な調理法は今後一人暮らし・災害時等用途が多く、普及しやすい講習ができた。また、こども園を訪問し出前食育講座を実施、「朝食の重要性について」食教育を行い、幼少期からの食行動の重要性について啓発できた。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 685千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	685	703	△18	647	217
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	685	703	△18	647	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	610	610
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	75	75	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	685	685

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款	01項	05目	001600000事業	食生活改善推進事業
-----	-----	-----	-------------	-----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目
事業	大	0060 後期高齢者医療対策事業		(簡略番号：008349)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常	
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定			
補助单独区分				目的区分	民一老人福祉費			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

鳥取県後期高齢者医療広域連合に負担金（事務費負担金、療養給付費負担金）を支払うものである。

【事業の必要性】

後期高齢者医療被保険者の医療費負担分及び鳥取県後期高齢者医療広域連合の事務費を公費で負担し、後期高齢者医療制度の健全で安定的な運営を行うために必要である。

2. 根拠法令

高齢者の医療の確保に関する法律、鳥取県後期高齢者医療広域連合規約

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（社会保障の充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

75歳以上及び65歳から74歳で障がい認定を受け、後期高齢者医療に加入している被保険者の医療制度運営を鳥取県後期高齢者医療広域連合が行う。
この制度運営に係る費用については、高齢者の医療の確保に関する法律及び鳥取県後期高齢者医療広域連合規約により広域連合加入市町村が負担する。

□共通経費：均等割10%、人口割40%、高齢者人口割50%

【事業の効果】

制度運営の母体である鳥取県後期高齢者医療広域連合の健全で安定的な制度運営に寄与することができる。

【令和4年度評価】

広域で行うことにより、健全で安定的な運営を行うことができています。

6. 財源の説明

【一般財源】 227,058千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	227,058	223,718	3,340	222,696	233,706
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	227,058	223,718	3,340	222,696	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	227, 058	227, 058
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	227, 058	227, 058

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 006000000事業 後期高齢者医療対策事業

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目
事業	大	0062 後期高齢者医療特別会計繰出金					(簡略番号：027037)	
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	民一老人福祉費			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

後期高齢者医療の窓口事務及び賦課徴収事務に関する事務費、保険基盤安定負担金等を後期高齢者医療特別会計へ繰出し、後期高齢者医療制度の安定的な運用を図るもの。

【事業の必要性】

高齢者の医療の確保に関する法律により、市町村は後期高齢者医療制度に係る特別会計を設置し、保険基盤安定負担金（低所得者・被用者保険の旧被扶養者への保険料軽減）を特別会計に繰出すことが定められており、業務の適正運営を行うために必要である。

2. 根拠法令

高齢者の医療の確保に関する法律、鳥取県後期高齢者医療広域連合規約

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（社会保障の充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

後期高齢者医療特別会計へ以下の費用を繰出しする。

1. 町の窓口事務、賦課徴収にかかる費用
2. 保険基盤安定繰出金

【事業の効果】

本事業により、後期高齢者医療制度の適正かつ円滑な運営を行うことができる。

【令和4年度評価】

本事業により、低所得者・被用者保険の旧扶養者への保険料軽減を行い、適正かつ安定的な運営を行うことができた。

6. 財源の説明

【県支出金】後期高齢者医療基盤安定制度負担金 42,930千円

【諸収入】高齢者保健事業一体的実施委託費 60千円

【一般財源】 18,527千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	61,517	58,990	2,527	57,229	49,665
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	42,930	41,121	1,809	40,442
	地方債				
	その他	60		60	96
	一般財源	18,527	17,869	658	16,691

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金	61,517	61,517
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	61,517	61,517

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15010201401	後期高齢者医療基盤安定制度負担金	42,930	41,121
諸収入	20050302673	高齢者保健事業一体的実施委託	60	

【補助金】

補助金等の名称	後期高齢者医療基盤安定制度負担金				
補助基本額	57,241	補助率	75.0%	補助金額	42,930

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款 01項 05目 006200000事業 後期高齢者医療特別会計繰出金

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目
事業	大	0115	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（簡略番号：034398）					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続		臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

がんを早期発見し死亡者の減少を図る。乳がん検診41歳を対象に無料券（クーポン券）を配布、女性特有のがん検診では、20歳～69歳の若年層を対象に受診勧奨を行うとともに、精密検査未受診者への勧奨を行うもの。

【事業の必要性】

女性特有のがん、働き盛り世代のがんの早期発見・早期治療を推進し、若年層の死亡者減少、医療費の削減を図るために必要である。

- ## 2. 根拠法令 健康増進法

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【第3次健康ゆりはま21】

SDGs 目標3 「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

早期発見・早期治療を目的に、検診受診率と精密検査受診率の向上と、乳がん検診41歳無料化の継続を行う。また、乳がん検診受診勧奨と健診個別案内を併せた未受診者への勧奨と集団健診会場での自己検診指導の継続実施、要精密検査対象者の未受診者勧奨を行う。

【事業の効果】

個別受診勧奨で、受診の習慣付けと乳がんの早期発見・早期治療により、医療費の削減を図る。また、クーポン券交付により、経年受診行動の継続と新規継続者の獲得を行う。

【令和4年度評価】

乳がん検診受診者数は昨年に比べ増加したが、2年に1度の受診であり、経年受診不可と思
い込み、クーポン券を使用していない人がある可能性があり、次年度券の発行時や受診勧
奨時に明記し、受診者数の増加に努めたい。

- ## 6. 財源の説明

【国庫支出金】感染症予防事業費等国庫補助金 17千円

【一般財源】155千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	172	207	△35	100	95
	国庫支出金	17	24	△7	24	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	155	183	△28	76	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	4	4	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料	159	159	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	172	172

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	感染症予防事業費等 国庫補助金（がん検診総合支援事業）			
補助基本額	35	補助率	50.0%	補助金額
				17

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 011500000事業 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0122	自死対策緊急強化交付金事業			(簡略番号：008343)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

平成20年度から地域自死対策緊急強化基金事業が始まり、自死者が今後増加しないよう、県など関係機関との連携を図りながら、自死予防対策を積極的に推進する。

【事業の必要性】

全国の自死者数は減少傾向だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から自死者が増加している。特に女性の自死者が増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活で孤立したことも要因であるといわれている。こころの相談窓口や、うつ病などの疾患について周知を行い、継続的に自死予防対策を行う必要がある。

- ## 2. 根拠法令

自殺対策基本法

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【第3次健康ゆりはま21】、SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

啓発グッズやチラシを配布し、こころの相談窓口の周知を行う。また、自死との関連が深いうつ病や睡眠障がい等の早期発見・治療について、講演会や教室等で普及啓発を行う。

【事業の効果】

自死予防に関する普及啓発、相談窓口の周知を継続して実施することで、自死者の減少に向けた取り組みを推進することができる。

【令和4年度評価】

講演会の実施や、県と連携した相談窓口の周知などを行い、自死予防の取り組みを推進した。また、若い世代から普及啓発を行うために、成人式での啓発グッズの配布を行った。

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】鳥取県市町村自死対策緊急強化交付金 65千円

【一般財源】 68千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	133	84	49	67	50
	国庫支出金					
	県支出金	65	41	24	41	
	地方債					
	その他					
	一般財源	68	43	25	26	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	35	35	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	98	98	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	133	133

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県市町村自死対策緊急強化交付金				
補助基本額	132	補助率	50.0%	補助金額	65

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款	01項	05目	012200000事業	自死対策緊急強化交付金事業
-----	-----	-----	-------------	---------------

[illegible]

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0124	ホルディックウオーキング教室事業（東郷湖・未（簡略番号：032540）				
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

東郷湖・未来創造会議アクションプログラムを受けて養成した公認指導員によるノルディック・ウォーキング教室を開催する。

【事業の必要性】

東郷湖を中心とする様々な地域資源を活用した町民の健康づくりや健康増進、ノルディック・ウォークの普及のために必要である。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】 安心して暮らせるまち

【第3次健康ゆりはま21】

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

健康をテーマとしたウエルネスウォーキングを定期的に開催する。また、町内自治会を対象に教室を開催し、町民の健康づくりはもとより、年間を通じたウォーキングの機会を提供する。

【事業の効果】

ノルディック・ウォークの普及により町民の健康増進が図られるとともに、東郷湖を中心とした地域資源の活用につなげることができる。

【令和4年度評価】

ウエルネスウォーキングを3回開催（8～10月）参加者計36名。町内事業所及び自治会教室未開催。新型コロナウイルス感染により自粛傾向にある自治会教室等の再開が課題。

- ## 6. 財源の説明

【諸収入】運動教室等参加費 18千円

【一般財源】 94千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	112	112		112	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	18	17	1	17	
	一般財源	94	95	△1	95	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	112	112	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	112	112

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款	01項	05目	012400000事業	ノルディックウォーキング教室事業（東郷湖・
-----	-----	-----	-------------	-----------------------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目
事業	大	0126	ゆりはま天女おもてなしウォーク			(簡略番号：034257)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	衛一保一その他		

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
【事業の概要】
「ゆりはま天女ウォーク」を開催し、町内外から多くのウォーキング愛好者に参加してもらうことで、ウォーキングリゾートの推進に努めるとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を図る。
【事業の必要性】
ウォーキングによる町民の健康づくり、健康増進に努めるとともに、大会を通じて多くの町の魅力を発信し、交流人口の拡大を目指す。
- 根拠法令
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」
- 本年度の計画効果
【本年度の計画】
ゆりはま天女ウォークの開催
開催予定日：令和5年10月22日（日）
【事業の効果】
町民の健康づくり、健康増進に寄与するほか、大会の開催を通じて本町の魅力を発信し、東郷湖周を中心とした地域資源の活用と交流人口の拡大を図ることができる。
【令和4年度評価】
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、令和4年10月23日（日）にハワイ夢広場を主会場に開催。参加者483名（うち町民112名）。町民の健康増進及び町の魅力発信に努めた。
- 財源の説明
【県支出金】市町村創生交付金 375千円
【諸収入】スポーツ振興くじ助成金 1,527千円
【一般財源】 1,415千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,317	2,726	591	2,478	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	375	355	351	
	地方債				
	その他	1,527	1,439	88	1,222
	一般財源	1,415	932	483	905

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	3,317	3,317	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,317	3,317

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020301415	市町村創生交付金（ゆりはま天	375	355
諸収入	20050302652	スポーツ振興くじ助成金（ゆり	1,527	1,439

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	1,790	補助率	21.0%	補助金額	375

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節 細節		

04款 01項 05目 012600000事業 ゆりはま天女おもてなしウォーク

	現年	当初予算
（一）建設費	70,689,000	70,689,000
（二）維持費	1,000,000	1,000,000
（三）雑費	1,000,000	1,000,000
（四）その他	1,000,000	1,000,000
合計	73,689,000	73,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目
事業	大	0127 積立貯筋運動（健康づくり）事業				(簡略番号：034339)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	衛一保一その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

保健指導等の健康事業と連携し、町民の健康づくり支援として有酸素運動、体幹トレーニング、筋力アップトレーニング等の運動教室を開催する。

【事業の必要性】

いつまでも健康に生活するために運動を習慣化し、生活習慣病及びフレイル等の予防をすることが重要である。そのため、自分に合った運動の機会を提供するため、各種運動教室の開催が必要である。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

【第3次健康ゆりはま21】

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

- ①各種運動教室の開催
- ②新規参加者加入促進のための参加費無料日実施
- ③運動教室カレンダーの作成（年2回全戸配布）

【事業の効果】

運動の機会を提供することで運動の習慣化を図り、生活習慣病予防・介護予防につなげることで、将来的な医療費・介護給付費の削減が期待できる。

【令和4年度評価】

曜日や時間帯、運動の内容を変えて各種運動教室を開催した。また、他課を含め、町で開催している運動教室の年間カレンダーを作成、全戸配布し、運動教室の周知と参加しやすい環境を整えたが、新型コロナウイルス感染症による影響などもあり、参加者の増加になかなかつながらなかった。

- ## 6. 財源の説明

【諸収入】運動教室等参加費 654千円

【一般財源】2,460千円

5 保健対策費		所属	0101014500-0000	健康推進課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,114	3,198	△84	2,827	868
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	654	1,057	△403	516	
一般財源	2,460	2,141	319	2,311	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	85	85	25 寄附金		
11 役務費	1	1	26 公課費		
12 委託料	2,776	2,776	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	252	252	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,114	3,114

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 012700000事業 積立貯筋運動（健康づくり）事業

	現年	当初予算
（一）建設費	70,689,000	70,689,000
（二）維持費	1,000,000	1,000,000
（三）雑費	1,000,000	1,000,000
（四）その他	1,000,000	1,000,000
合計	73,689,000	73,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目
事業	大	0129 ウオーキングリゾート推進事業				(簡略番号：035650)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分	単独事業		目的区分	衛一保一その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

ウォーキングによる集客力の高い韓国済州オルレと「友情の道」協定締結を行った。本町でもウォーキングリゾートとしてインバウンドを推進するため、済州オルレウォーキングフェスティバルでのPR等により、さらなる交流と将来的な交流人口の拡大を図る。

【事業の必要性】

済州オルレとの「友情の道」協定締結を契機としたPR活動の強化により、将来的なインバウンド推進を図ることができる。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共

【まち・ひと・しごと創生総合戦略】活力ある元気なまち
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

☐ 済州オルレウオーキングフェスティバルに参加しPR
 ☐ ウオーキングコースの維持管理
 ☐ 町民がイベントに参加するための費用一部助成
 ☐ 済州オルレとの将来的な交流の在り方を継続協議、検討 ほか

【事業の効果】

ウォーキングを通じて世界各国とのネットワークがある済州オルレと相互PRを行うことで、町が推進しているインバウンドを促進することができる。

【令和4年度評価】

新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限により、予定していたイベントへの参加を中止とした。インバウンド促進のため、アフターコロナに向けた受け入れ環境の整備や町及びコースの魅力を継続的にPRしていく。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 1,637千円

5 保健対策費		所属	0101014500-0000	健康推進課		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財 源 内 訳	事 業 費	1,637	1,430	207	122	276
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,637	1,430	207	122	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	276	276
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	474	474	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	201	201	26 公課費		
12 委託料	665	665	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	1	1	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,637	1,637

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 012900000事業 ウオーキングリゾート推進事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	
事業	大	0228 食と健康のまちづくり事業				(簡略番号：038468)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	衛－保－その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

県・市・町・村タニタヘルスリンクと進める「ゆりはま食と健康のまちづくり事業に関する協定」に基づき、町民の健康寿命の延伸及び店舗への誘客を目指すため、町内協力店舗で開発された健康メニューの品質管理を行う。また、メニュー普及のためのキャンペーンを通じて、事業の魅力向上と利用促進を図る。

【事業の必要性】

町内協力店舗で展開している「タニタ監修メニュー」の品質保持のため、塩分やカロリーなど、必要項目の確認を行うことで、開発メニューを継続的に提供できる。また、キャンペーン実施を通じて認知度を高め、定期利用に資することができる。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

町内協力店舗で開発された健康メニューの品質保持のため、監修元の確認を受ける。

また、キャンペーン実施を通じ、健康メニューの認知度向上を図る。

【事業の効果】

健康メニューの普及・認知度を高めるとともに、メニュー提供を継続展開することで、町民の健康増進及び交流人口の拡大を推進する。

【令和4年度評価】

ウィズコロナによる日常生活の緩和を受け、健康メニューに対する町民の認知度向上と利用促進を図るためのキャンペーンを実施した。しかしながら、未だ健康メニューへの認知度は高いとは言えず、引き続き広報に努める必要がある。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 522千円

5 保健対策費		所属 0101014500-0000		健康推進課		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	522	786	△264	786	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	522	786	△264	786	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	200	200	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	44	44	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	278	278	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	522	522

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

04款 01項 05目 022800000事業 食と健康のまちづくり事業

歳出予算事業概要書

令和 5年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位：千円)

款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	05	保健対策費
事業	大	0229	SIBを活用した飛び地型自治体連携事業（地方創					
	中		(簡略番号：040294)					
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	衛一保一その他				

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

平成30年度から展開している「食と健康のまちづくり事業」の大規模拡大版。民間の資金やノウハウによって課題解決を図るSIB（ソーシャル・インパクト・ボート）手法を活用しながら、広域の自治体連携で健康寿命の延伸と医療費抑制に取り組むもの。複数自治体が中間支援組織（つくばヘルスリサーチ）及びサービス事業者（タニヘルスリンク）による合同会社と成果連動型の委託契約を締結。分析や評価を第三者機関（筑波大学）が担う形で健康施策を展開し、5年間にわたって新規会員約1,400人を目指す。

【事業の必要性】

自治体連携により、先進的事例を取り入れることで、課題に対するより効果的な施策の模索・実行が期待できる。これら施策によって住民に運動習慣を定着させ、生活習慣病予防等の意識を高めていくとともに、将来的な医療費削減につなげる。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（保健・医療・健康づくりの充実）
SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

継続会員690名、新規会員300名、計990人の会員獲得を目指す。

【事業の効果】

住民の健康意識を高め、運動習慣化により将来的な医療費削減が期待される。連携自治体間で先進事例を参考共有することで、課題に対する施策の模索・実行が期待できる。

【令和4年度評価】

高齢者割合及び目標歩数の低迷が続いており、全体的に集客数も低下気味である。運動意欲の維持・向上に加え、事業誘引の方法検討、魅力や目的の効果的な周知に努める。

6. 財源の説明

【国庫支出金】 デジタル田園都市国家構想交付金 9,660千円

【諸収入】 ゆりはまヘルシーくらぶ会費 1,215千円

【一般財源】 14,062千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	24,937	26,907	△1,970	24,923	15,071
財源内訳					
国庫支出金	9,660	11,158	△1,498	10,874	
県支出金					
地方債					
その他	1,215	1,030	185	957	
一般財源	14,062	14,719	△657	13,092	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	574	574	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	3,267	3,267	25 寄附金		
11 役務費	562	562	26 公課費		
12 委託料	14,737	14,737	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	5,797	5,797	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	24,937	24,937

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101238	地方創生推進交付金		11,158
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	9,660	
諸収入	20050302654	ゆりはまヘルシーくらぶ会費	1,215	1,030

【補助金】

補助金等の名称	デジタル田園都市国家構想交付金			
補助基本額	19,319	補助率	50.0%	補助金額 9,660

【実施計画】

実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

04款 01項 05目 022900000事業 SIBを活用した飛び地型自治体連携事業（地方